

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成30年10月15日

施設名	高知県立ふくし交流プラザ	所管課	地域福祉部地域福祉政策課
-----	--------------	-----	--------------

1 施設の概要

指定管理者名	(社福)高知県社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
施設所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
事業内容	1 高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務（施設の維持管理及び貸し出し） 2 県民に対する介護講座事業の実施 3 福祉用具の調査研究、展示、試用貸出、収集及び保管管理 4 ふくし交流プラザふれあいショップの運営 5 自主提案事業 <平成29年度> 1) シルバー手づくり展開催事業 2) 障害児支援に係る事業(障がいキッズ&パパママ応援事業) 3) 障害児・者の職場体験の受入れ		
施設内容	施設名: 高知県立ふくし交流プラザ 設備: 1Fレストラン、2F～5Fに自動販売機設置、駐車場(普通車で209台/無料)完備 面積: 【土地】7,570㎡ / 【建物】7,965.24㎡(延べ床面積) 利用時間: 9:00～17:00(ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする) 休館日: 毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・12月29日～1月3日 貸室: 各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり		
職員体制	常勤職員: 3人 非常勤職員: 5人 合計: 8人		

2 収支の状況

(単位: 千円)

		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
収入	県支出金	64,704	62,783	62,992
	使用料・手数料	14,309	15,316	14,277
	負担金	6,866	7,634	7,613
	その他	1,136	1,084	1,074
	収入計 (a)	87,015	86,817	85,956
支出	事業費	6,109	5,363	7,208
	管理運営費	50,761	50,809	50,719
	人件費	28,967	28,894	28,029
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	85,837	85,066	85,956
収支差額(a)-(b)		1,178	1,751	0

3 利用状況

	平成28年度(実績)	平成29年度(実績)	平成30年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	74,128	77,050	75,000
②利用者意見等の反映	○ 貸室利用者アンケート等の実施状況 時期:随時 方法:館内に意見箱を設置し、利用者からの意見を収集。 結果:H29年度は、運営・管理などに関する意見は寄せられなかった。		
	○ 事業参加者アンケート等の実施状況 時期:その都度 方法:アンケート調査による意見収集 結果:講座受講者のニーズを把握し、事業企画に反映している。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 H29年度は意見が寄せられなかったため該当はないが、対応可能な意見等については、速やかに対応することとしている。		
③その他特記事項			

4 平成29年度業務評価

項	目	評 価	状 況 説 明
効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理	適正な管理運営の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画及び危機管理マニュアルを整備して定期的な訓練を実施し、緊急時に速やかに対処できる体制を整えている。 ・施設の維持修繕について、建築設備の定期点検や保守点検のほか、非常用照明器具の修繕等を実施している。 ・多目的ホールの机・椅子の設営について、あらかじめ利用者の要望を踏まえ貸室担当者が行うとともに、駐車場の混雑が予想される場合は、シルバー人材センターからの要員派遣により、駐車場の整理を行うなど、利便性の向上に努めている。 ・貸室全体の利用日数は延べ1,961日でH28年度より51日(2.5%)減少したが、利用者数は延べ77,050人となっており、H28年度より2,922人(3.9%)の増加となっている。利用料収入は、15,316千円となっており、利用者数の増加に伴い、H28年度から1,007千円(7%)の増加となっている。
	利用者サービスの維持向上		
	利用実績		
	収支の状況		
福祉の総合拠点としての情報発信と機能の充実・強化	福祉や介護に関する情報収集及び発信	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験、車いす体験、テーマ別の介護講座など、高齢者、障害者、介護者への理解及び支援等の講義や演習等を実施し、広く県民に福祉への啓発を行った。 ・福祉用具の相談については、専門知識を有する専門相談員を配置し、県民への相談助言体制を整えている。福祉用具の利用貸出は739件の実績となり、H28年度と同数であった。 ・シルバー手づくり展(年3回、延べ約2,100人)を開催し、高齢者の健康・生きがいづくりに寄与した。 ・通常の福祉機器展以外にも、障害のある子ども、家族、その他関係者等を対象とした障がいキッズ&パパママ応援事業等を開催し、制度や最新の支援機器の情報の提供、相談窓口の設置等により、支援者・家族の交流の場づくりを行った。 ・特別支援学校や障害者就労支援事業所と連携し、障害児・者の就労及び社会参加につながる職場体験の受入れを行った。
	福祉用具の展示及び管理		
	高齢者や障害のある方の社会参加への促進		
	福祉を担う人材の育成		
	関係機関等との連携・協力による、福祉の振興		

項 目	状 況 説 明
総合評価	<p>•高知県社会福祉協議会による管理は第3期、10年目となり、ノウハウも一定蓄積し、高知県社会福祉協議会の持つ幅広いネットワークを生かした適正な管理運営が行われている。</p> <p>•運営に対する利用者からの意見を収集するための意見箱の設置など、施設の利便性向上に向けた取組を実施しているが、意見箱についてはH29年度は意見が寄せられていないため、利用者の意見が収集できるよう工夫を求める。</p> <p>•H29年度に改善を求めた施設の維持修繕について、指摘された非常用照明器具の修繕を実施し改善を図っているが、今後も引き続き法定点検の適切な実施や施設の計画的な維持修繕の実施など、適正な施設・設備の管理を求める。</p> <p>•貸室の使用料収入については、利用者数の増加に伴い、前年度比7%の増加となっており、評価に値する。</p> <p>•今後も引き続き潜在的な利用者ニーズの把握や利用者の満足度の向上を図るとともに、「福祉の総合拠点」として相談機能の充実や福祉サービスの質向上に向けた取組の強化が必要である。</p>
	B

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

各室の定員及び利用料金(1時間あたり)

A: 利用者が営利を目的として利用する場合
 営利を目的とする法人、その他の団体が利用する場合
 *ただし、社会福祉に関する事業を除く

B: 社会福祉に関する事業に利用する場合
 社会福祉に関する事業その他公益的な事業を主たる事業とする法人(県内に主たる事務所を有する)、その他の団体(県内に居住するものを主たる構成員とする)が社会福祉に関する事業を行う場合

C: その他の場合

(単位:円)

施設名	定員 (人)	月曜日から金曜日の利用料金			土曜日・日曜日の利用料金		
		A	B	C	A	B	C
多目的ホール	504	14,070	3,520	7,040	17,590	4,400	8,800
スポーツ室	20	4,320	9:00~17:00 760	9:00~17:00 760	5,410	9:00~17:00 760	9:00~17:00 760
			17:00~21:00 1,080	17:00~21:00 2,160		17:00~21:00 1,360	17:00~21:00 2,710
高齢者能力開発室	50	2,160	550	1,080	2,700	680	1,350
介護研修室	30	3,660	910	1,830	4,590	1,150	2,300
調理実習室	40	3,020	760	1,510	3,790	950	1,900
研修室A	168	4,320	1,080	2,160	5,410	1,360	2,710
研修室B	36	860	210	430	1,090	280	550
研修室C	30	620	160	310	780	200	390
研修室D	42	1,500	380	750	1,870	470	930
多目的和室	45	1,310	330	650	1,650	420	830

(備考): 利用時間が1時間未満のとき、1時間未満の端数があるときは、端数を1時間として計算します。

冷暖房をご利用の際は、1時間につき多目的ホール200円、その他の施設100円の加算となります。